

まちの応援マガジン いなわしろ

広報猪苗代

Sep.2016

9

No.671

特集
極上の休日





名峰磐梯山を背に、名曲「バンザイ〜好きでよかった〜」を熱唱するトータス松本さん

特集 極上の休日

猪苗代湖畔・天神浜で開催されたカルチャーミックスフェスティバル「オハラ☆ブレイク'16夏」。
猪苗代湖畔に日本を代表する表現者＝アーティストが集結しました。
豊かな自然に恵まれたこの地で過ごす極上の時間。
今月号では、イベントの様子とイベントを通じて町の魅力を発信する若者たちの姿を紹介します。

オハラ☆ブレイク

「数ある夏フェスの中でも、オハラ☆ブレイクにだけは出させてほしいとお願いしたんです。磐梯山に猪苗代湖、こんなに素晴らしいロケーション、ほかにないです。」昨年引き続きの出演となったトータス松本さんは、ステージから話しました。

「オハラ☆ブレイク'16夏」は、7月30日から8月7日までの9日間、天神浜で開かれました。このイベントは、音楽を中心に、演劇、美術、写真、映画、ファッション、食などさまざまな文化を感じることができるカルチャーミックスフェスティバル。今年で2回目の開催です。

イベント名の「オハラ」は民謡会津磐梯山の小原庄助さんが「ブレイク」は英語の「休息」が由来となっています。また、「ラブ・ブレイク」という言葉が隠れていて、猪苗代湖を愛する気持ちも込められています。イベントのコンセプトは「スローライフを大切にしたい大人の文化祭」です。

特設ステージには、浅井健一さん、トータス松本さん、田島貴男さんなど、多数のミュージシャンが出演。湖畔の風景に合った、アコースティックを主

体とした演奏を披露し、訪れた来場者を魅了しました。
ステージに立ったミュージシャンたちは、誰もが山と湖に囲まれたロケーションを絶賛。夕暮れ時には、湖面に沈む夕日が、まるで照明のように会場全体を赤く染め上げ、来場者は、自然の美しさを感じながら、極上の時間を過ごしました。

多彩なプログラム

音楽ステージ以外にも多彩なプログラムが展開されました。世界中から寄せられたアナログレコードが収蔵された移動コンテンツ。ロックの図書館分室と名付けられたこのコンテンツには、奈良美智さん、森北伸さん、青木一将さんによる美術制作が施されました。

猪苗代湖畔を舞台に繰り広げられる短編小説「三人の男が猪苗代湖で会う話」スパイ・失恋・エスケイプ」を昨年の同イベントに書き下ろした小説家の伊坂幸太郎さんは、続編となる「猪苗代湖の話2016」をスポンジとサマー」を執筆。作品は来場者に配布されました。

さらに、「三人の男が猪苗代湖で会う話」は劇団のペテカンにより演劇化。音楽はThe Piecesの大木温之さんが担当し、

ギター一本で生演奏。猪苗代湖畔で繰り広げられる心温まる物語が、現実世界の猪苗代湖畔で演じられるという演出に、訪れた来場者からは大きな拍手が送られました。
はじまりの美術館は、同館で開催中の企画展「オソレイズム」を開催。飯野哲心さんによる「精霊馬ムーバー」が展示されました。この作品は乗り物になっていて、子どもたちが楽しそうに遊んでいました。

町出身者も参加

同イベントには、国内外で幅広く活躍する町出身者も参加。5月14日に就航したANA「東北フラワージェット」で機体デザインを手がけた写真家、野口勝宏さん（東南真行出身）や似顔絵をユーモアたっぷりに描く、カリカチュアアーティスト、渡辺孝行さん（小平湯出身）も作品の展示などを行い、来場者の目を惹きました。「朝ヨガ」で参加したヨガインストラクター、meicoさん（旭町出身）は「小さい頃、家族と遊んだ猪苗代湖。大勢の人が猪苗代湖の大自然を満喫している様子を目の当たりにして、自分の生まれ育ったふるさとを誇らしく思います」と話しました。



1_奈良美智さんのイラストが施されたロックの図書館分室 2_東北、福島の花の写真作品を展示した野口勝宏さん 3_「三人の男が猪苗代湖で会う話」を演じるペテカンのメンバー 4_伊坂幸太郎さんが書き下ろした短編小説 5_渡辺孝行さんは著名人の似顔絵を展示 6_飯野哲心さん制作の精霊馬ムーバー 7_自然に囲まれた会場でヨガを指導する meico さん

若者の力を一つに

豊かな自然に囲まれ、歴史、伝統文化、温泉などの観光資源を有する猪苗代。オハラ☆ブレイクの会場内には、新たな町の魅力を発信しようとする若者たちの姿がありました。



食で会場を盛り上げる

屋台などの飲食コーナーも野外イベントの楽しみ一つです。オハラ☆ブレイクの会場内にも料理や飲み物を提供するテントが並びました。

農家レストラン結は、猪苗代名産のそばを提供。ほかに焼き団子や猪苗代地ビール、只見名物の味付マトンケバブなどの豊富なメニューがあり、来場者は、極上の音楽や芸術とともに、さまざまな食を楽しみました。

メインステージ近くに設けられた「猪苗代食堂」のブースには、大勢のお客さんが詰めかけました。この「食堂」を運営するのは、町内の若者たちが立ち上げた「猪苗代研究所」の会員やその仲間たち。猪苗代食堂では、町内産の農産物を活用したオリジナルメニュー、ベジタコライスや夏野菜トルティーヤ、まるごとアスパラの春巻きなどを販売しました。

猪苗代食堂の隣には、採れたての新鮮野菜や果物を販売する「猪苗代市場」を開設。JA会津よつば青年連盟猪苗代地区（農青連）のメンバーが生産したトマトやキュウリなど、地元産の新鮮な野菜を買い求める来場者でにぎわいました。

1_会場には町の子どもたちが書いた絵画が展示された 2_活発な意見が飛び交った試食会 3_猪苗代研究所設立総会



Interview

猪苗代研究所理事長
【猪苗代町商工会青年部】

西村和貴さん

Kazutaka Nishimura
中の沢



昨年のオハラ☆ブレイクの開催前に、イベントの発起人である菅真良さんから「地元の人に、地元の農産物などを使って出店してほしい」と相談されたのが全ての始まりでした。これを良い機会と捉え、農青連と青年会議所に協力をお願いすることにしました。その結果、新たな仲間たちとともに、「猪苗代研究所」としての活動がスタートしました。

今年のオハラ☆ブレイクでは、「猪苗代食堂」という名前で3団体が一致団結して出店することでメニューの統一化を図ることができました。購入していただいたお客さんからは、農産物の生産者が直接販売しているということで、安心して商品を買うことができるとの声をいただきました。食の新メニュー開発は、時間不足もあってまだまだ満足できないところがあるので、色々なアイデアを出し合いながら、猪苗代らしい商品を作りたいです。

Interview

猪苗代研究所副理事長
【猪苗代青年会議所】

楠 恭信さん

Kyoshin Kusunoki
三城潟



猪苗代研究所として何ができるのか。夜、各自の仕事が終わってから何度も集まっては話し合いをしましたが、なかなか話がまとまりませんでした。そこで、活動の方向性をより明確なものにするため、団体をNPO法人化することに決めました。NPO法人を設立するために、専門的なアドバイザーを呼んで講習会や勉強会を開きました。青年会議所としては、メンバーそれぞれがこれまでに培ってきた経験や人脈をうまく生かすことができたと感じています。

今後、猪苗代研究所では、地域活性化のためのさまざまな研究や取り組みをしていきたいと考えています。オハラ☆ブレイクでの活動は、その第一歩となる大きな取り組みだと思います。今回の出店を経験して、良い刺激をたくさん受けました。今後は、得意分野を生かしながら、より高みを目指していきます。

Interview

猪苗代研究所副理事長
【JA会津よつば青年連盟
猪苗代地区】

土屋睦彦さん

Nobuhiko Tsuchiya
百目貫



地元の若者たちと手を組んで、自分たちの力で何かをやりたい。農業に携わりながらも、ずっとそんな思いを持っていたので、猪苗代研究所を設立するという話を聞いた時は、すぐに協力したいと思いました。農家、飲食店、食品加工、大工、電気屋、僧侶、神主など、メンバーの職業はさまざま。でも、猪苗代を訪れた人に気持ちのいい時間を過ごしてもらいたいという思いは一緒です。出店に迷いはありませんでした。

イベントでは、私たちが愛情を込め、自信を持って生産した米や野菜を多くの人に食べてもらうことができ、とても嬉しく思っています。私は、オハラ☆ブレイクに参加することができ、町の若者たちは大きなチャンスをいただいたと考えています。猪苗代に住んでいてよかったと少しでも思えるように、仲間たちと取り組んでいきたいです。



1_猪苗代市場の新鮮野菜 2_賑わいをみせた猪苗代食堂 3_地元産品を使ったオリジナルカクテルも人気 4_農家レストラン結の創作冷かけそば 5_お客さんも自然に笑顔に





オハラ☆ブレイク実行委員長
菅 真良さん
(上新町出身)

18歳で猪苗代町を離れ、仙台市の会社で東北を中心にコンサートの仕事を26年間行ってきました。コンサートの仕事で培った人脈を生かして、いつか、日本のどこかに、世界中の人が憧れるようなキラキラした魅力的な町を作りたい。こんな思いが年々強くなりました。

その町をイメージした時、自分の生まれ故郷である猪苗代湖や磐梯山の情景が浮かびました。壮大な景色の中で、音楽が流れて素敵な美術を鑑賞できて、美味しい食べ物を堪能できて、迎えてくれる町の人たちが魅力に溢れている。そんなイメージを持つことができたので、猪苗代湖畔でオハラ☆ブレイクを開催しました。

会場に足を運んでくれたお客さんから、楽しい時間を過ごしていただけたこと聞き、嬉しく思っています。出演したミュージシャンや美術の展示などで参加したアーティストからも「またこの場で演奏したい」「違う展示や表現に挑戦したい」などの言葉をいただきました。そして、猪苗代町に住んでいる人たちが会場を訪れ、楽しい時間を共有してくれたことに感謝しています。

昨年、産声をあげたオハラ☆ブレイク。私がオハラ☆ブレイクを始めたことで、たくさんの人たちの人生に、今までとは違う何かが始まっていることを知り、嬉しく思っています。ただ、今年の開催は、イベントの集客が昨年と変わらなかったため、収支が見合わない状況となり、残念ながら損失は大きく、イベントを続けていくためには、まだまだ動員が足りないのが現実です。でも、続けられる限り、続けていきます。

猪苗代湖に沈む夕日や夜空に輝くたくさんの星。磐梯山はでっかくて、おいしいご飯においしいお酒。この町から生まれる感動は、みんなに自慢できる宝物です。今年、参加いただけなかった人たちにもぜひ、続けている限りいつか参加して、最高の時間を過ごしてほしいと思います。そして、願わくば、一緒に、最高の町を作っていってもらえたら幸いです。



町の魅力を再発見

自然の恵みに人が持つ魅力が加われば、
当たり前前に感じていたことが、
かけかえのない、特別なことになります。

極上の町で暮らす

東日本大震災から5年6ヶ月が経過し、町の基幹産業の一つである観光業においては、関係者の努力の成果もあり、観光入込者数は徐々に震災前の水準に戻りつつあります。しかし、教育旅行においては、依然として震災前の約55%程度にとどまっています。また、日本全体で年々増加している訪日外国人旅行者数ですが、県内の入込者数は原発事故による風評被害の影響があり、低迷したままです。

「猪苗代湖畔でどんなイベントが開かれているのか、自分の目で確かめに来ました。町の若者たちが一生懸命に取り組む姿を見て、頼もしさを感じました。先日、猪苗代湖に関連する日本遺産の登録がありました。まず、地元の魅力に気づき、触れることが大切だと思います。猪苗代町地方史研究会などで幅広く活動する鈴木清孝さん(西館)は、話しました。

オハラ☆ブレイクでは、町の魅力と音楽や芸術などの文化が融合。町の若者たちの取り組みも、極上の空間の一部となりました。

磐梯山と猪苗代湖。私たち町民にとって当たり前の風景は、多くの人々に感動を与える特別

な風景でもあります。自然、歴史、伝統文化など猪苗代町は全国に、そして世界に誇ることができる魅力の宝庫であることを取材を通じて再認識しました。このような魅力の原石となる素材は、まだまだ私たちのすぐ身近なところに眠っている可能性があります。

魅力たっぷりな猪苗代で、楽しく、元気に暮らしている町民の皆さんの笑顔もまた、かけがえのない財産の一つ。小原庄助さんもうらやむような極上の休日をご過ごしていきます。

特集 極上の休日 終わり

【VOICE】 町内から参加



子どもが生まれてからは遠くのイベントに行くことができなくなりました。でも、町内でこんなに素敵なイベントが開催されていてとても嬉しいです。湖水浴を楽しんでいると、ステージからは大好きな音楽が聞こえてきて、贅沢な時間を満喫しました。オハラ☆ブレイクで、特別な夏の思い出がたくさんできました。

川上順子さん(右)、柗輔くん(左)：八千代

【VOICE】 親子で初参加



とても美しいロケーションの中で、音楽のほかにも美術などの芸術に触れることができ、親子で最高の時間を過ごしています。天神浜には、娘が小学生の頃に湖水浴に来て以来だったのですが、県内でこのようなイベントが開催されていることにとっても誇りに思います。ぜひ、また来年も開催してほしいです。

池田いづみさん(左)、萌美さん(右)：須賀川市

【VOICE】 東京都から初来町



初めて猪苗代町に来ました。別な音楽イベントに参加したことがありますが、こんなにゆったりとした雰囲気、自然がとても豊かで、東京にはない良さを感じています。猪苗代食堂の「ベジタコライス」を食べましたが、野菜が甘くてとてもおいしかったです。猪苗代には温泉がたくさんあると聞いたので、また来たいと思います。

天瀬芽さん(左)、村田百子さん(右)：東京都



猪苗代の夏の夜空を彩った大輪の花火

夏の夜空に大輪の花

いなわしろ花火大会を開催

いなわしろ花火大会は8月13日、町運動公園で開かれ、約3000発の花火が夜空を鮮やかに彩りました。今年の花火大会のテーマは「飛躍」。音楽に合わせて、尺玉やスターメインなどを次々に打ち上げ、会場を訪れた大勢の観客を魅了しました。

花火の打ち上げを前に、ステージでは「それいけ！アンパンマンショー」のほか、ひでよくんやこゆりちゃんらによるご当地キャラステージが繰り広げられ、訪れた家族連れなどが楽しい時間を過ごしました。開会式では、前後公町長が「震災から5年が経過したが、復興、創生に向け飛躍できるような町の安全、安心を力強く発信します」とあいさつを述べました。



ご当地キャラなどが登場し、大勢の観客でにぎわったステージイベント



剣舞を奉納する吾妻小の児童

東軍殉難者の御霊安らかに

戊辰戦争の激戦地母成峠で慰霊祭

戊辰戦争の激戦地、母成峠^{ぼなりとうげ}の戦いで戦死した東軍殉難者の慰霊祭は8月21日、母成慰霊碑前で執り行われました。

慰霊祭には母成峠弔霊義会の会員や殉難者の子孫など約30人が出席。仏事後、母成峠弔霊義会の橋本彦一会長が祭文を読み上げ、土屋重憲教育長が弔辞を述べました。慰霊祭後、吾妻小4、5年生約20人が白虎隊の剣舞を奉納し、殉難者の霊を慰めました。

スカウト精神と生きる力を培う

北海道・東北ブロックボーイスカウト野営大会

ボーイスカウト日本連盟創始95周年記念第5回北海道・東北ブロック野営大会は7月28日から8月1日まで、天神浜で開かれました。大会には加盟団体のボーイスカウトら約600人が参加。野営技術を生かした体験活動を行いました。青森県むつ市から参加した齋藤有初^{ゆういち}さん(中学3年)は、「猪苗代町はとても自然が美しいところだと感じました。友だちをたくさん作り、友情を深めたいです」と話しました。



「友情ゲーム」で絆を深める参加者



追悼式で式辞を述べる前後町長

恒久平和の願いを込めて

町戦没者追悼式

町戦没者追悼式は8月5日、学びいなで行われ、町遺族連合会会員や関係者らが第二次世界大戦で犠牲になった戦没者800余名の冥福を祈りました。式では、参列者全員で黙とうを捧げた後、前後公町長が「戦争の恐ろしさ、非情さ、むなしさという教訓を次代に引き継ぎ、恒久的な平和維持のために全力を尽くします」と式辞。加藤清司県会津保健福祉事務所長、長沼一夫町議会議長が追悼の辞を述べ、参列者が慰霊に献花しました。

一ノ瀬正一さんに観光功労者表彰

福島県教育旅行の発展に尽力した功績をたたえ

日本観光振興協会より観光振興事業功労者表彰を受けた一ノ瀬正一さん(高森)は8月12日、町役場を訪れ、前後公町長に受賞を報告しました。一ノ瀬さんは、県観光物産交流協会教育旅行推進委員長や磐梯高原学生誘致連合会会長として、長年にわたり教育旅行の受入態勢の整備や誘致活動に取り組み、福島県教育旅行の発展に尽力してきました。一ノ瀬さんは「東日本大震災の風評被害払拭を図るため、引き続き努力します」と話しました。



前後町長に受賞を報告した一ノ瀬さん(左)



大川原副町長から辞令を受けるセイラムさん(右)

外国語指導助手に辞令交付

セイラムさんが3年目を迎える

町外国語指導助手の辞令交付式は8月4日、町役場で行われ、フォーチュネート・セイラム・アドックポさんに1年間の任用辞令が交付されました。セイラムさんはガーナ共和国出身の34歳。平成26年8月から外国語指導助手(ALT)として、主に町内の中学校で英語を教えています。式では、大川原久夫副町長が「町民の語学力の向上ため、協力をお願いします」とあいさつしました。

マチュピチュ村長らが来町

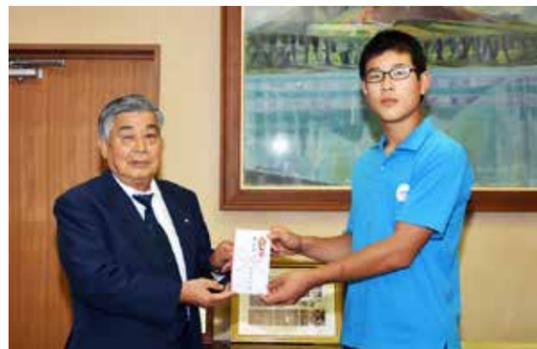
野口英世記念館で博士の功績に触れる

大玉村との友好都市の縁で来県したペルー・マチュピチュ村のダビ・ガヨソ・ガルシア村長らは8月5日、野口英世記念館を訪れました。野口博士は1920(大正9)年に黄熱病の研究のためにペルーに渡り、風土病のオロヤ熱やペルーいぼが同じ病原菌から発症することを学術的に証明しました。

ガルシア村長らは、八子弥寿男野口英世記念館理事長らから歓迎のあいさつを受けた後、野口博士の生家などを視察しました。



八子館長と握手を交わすガルシア村長(右から2人目)



前後町長から激励金を受け取る中島さん(右)

全国小学生柔道大会に出場

中島康輔さんが福島予選会で優勝

6月に郡山市で開かれた第13回全国小学生学年別柔道大会福島予選会に出場し、小学6年生男子50kg超級で優賞した中島康輔さんは8月17日、猪苗代町役場を訪れ、前後町長に全国大会での活躍を誓いました。前後町長は「県大会優勝は日ごろの努力の結果。けがに気を付けて頑張ってください」と激励。中島さんは「昨年のベスト16以上の成績を収められるよう頑張ります」と抱負を述べました。

遊びながら学習する機会を提供

「学びーなであそびーな」を開催

町と東京学芸大の地域協定締結によるイベント「学びーなであそびーな」は8月12、13の両日、学びいなで開かれました。会場には、子どもたちの想像力を養う遊具や布で作られたスペース・チューブというトンネルが設置され、多くの家族連れなどでにぎわいました。スペース・チューブは、舞台用の1枚の布で作られた白いトンネルで、子どもたちは「ふわふわ」「ゆらゆら」とした不思議な感覚に歓声をあげていました。



「スペース・チューブ」を体験する子どもたち



沿道の声援を受けて天神浜をスタートする選手

鉄人が会津路を駆け抜ける

うつくしまトライアスロン in あいづ

第18回うつくしまトライアスロン in あいづは8月21日、町内などで行われ、県内外から集まった512人の選手が熱いレースを繰り広げました。大会は天神浜のスイム1.5km、会津大までのバイク40km、同大周辺のラン10kmの計51.5kmのコースで争われ、選手は自分の限界に挑戦しました。

男子総合では栗原正明選手(山梨県)が初優勝。女子総合では菊池日出子選手(本宮市)が3連覇を達成しました。

咲き誇れ、笑顔の花

スマイルマークに沿ってソバの種まき

福島民報社など東日本大震災の被災3県の新聞社が展開している「スマイルとうほくプロジェクト」のフラワーアート制作は8月6日、町営磐梯山牧場で行われました。猪苗代スポーツ少年団ソフトボール部の部員など約80人が参加し、直径約50cmにかたどられたスマイルマークに沿って、ソバの種を丁寧にまきました。参加した佐藤楓馬さん(猪苗代小)は「スマイルマークに咲くソバの花を見るのが楽しみです」と話しました。



丁寧にソバの種をまく参加者



中ノ沢系こけしについて説明する柿崎さん

「たこ坊主」の魅力を紹介

中ノ沢系 TAKOBOUZU こけし展

中ノ沢系 TAKOBOUZU こけし展は8月20日から31日まで、和みいなで開かれました。こけし展では、東北各地の大きささまざまなこけしが展示されたほか、木地師から始まるこけしの歴史や、中ノ沢系こけしが「たこ坊主」という名で親しまれている由来などをパネルで紹介しました。中ノ沢たこ坊主会会長の柿崎文雄さんは「中ノ沢系こけしが新たな系統として認められるよう認知度を高め、愛好家の機運を高めます」と話しました。

仲間と一緒に清掃活動

猪苗代スポーツ少年団がゴミ拾い

猪苗代スポーツ少年団は8月21日、町内の清掃活動を行いました。同スポーツ少年団の陸上部、ソフトボール部、ミニバスケットボール部、サッカー部に所属する児童72人と保護者30人が2班に分かれてゴミ拾いを行い、さわやかな汗を流しました。

同スポーツ少年団では、毎年8月に清掃活動を実施し、町の美化保全のために取り組んでいます。参加者は「これからも町をきれいにしていきたい」と話しました。



真剣に清掃活動を行う児童ら



高得点を叩き出した第5分団のポンプ車操法

第5分団が堂々の優勝

北会津地方消防操法大会

第16回県消防協会北会津地方消防操法大会は8月7日、町水防センター西側駐車場で開かれました。猪苗代町、磐梯町、会津若松市の消防団の代表チームが出場し、ポンプ車操法の部と小型ポンプ操法の部で操作の正確性などを競いました。ポンプ車操法の部では、第5分団が高得点を叩き出して優勝。小型ポンプ操法の部では、第6分団が準優勝し、町の代表が両部門で活躍しました。優勝した第5分団は、福島市で開かれる県大会に出場します。

マウンテンバイクを楽しもう

子ども向けスクールを開催

MTB(マウンテンバイク)のレースを開催しているジンギスカップ実行委員会は7月31日、「子供向けMTBスクール」を磐梯南ヶ丘牧場で開きました。スクールではBMX選手の穴戸洋貴さんが講師を務め、5歳から14歳までの21人がマウンテンバイクの乗車姿勢など、基礎的な技術を学びました。森山栄幸実行委員長は「マウンテンバイクに親しむことでバランス感覚を養い、自転車に乗る楽しさを感じてほしいです」と話しました。



マウンテンバイクの技術を磨く参加者

スクールトピックス



結果の報告に訪れた特設バドミントン部の選手ら



男子ダブルス準優勝の安田(左)・鶴岡組

猪中バド部が全国大会で大活躍 女子団体優勝、男子団体は準優勝

第46回全国中学校バドミントン大会は8月17日、20日、石川県の金沢市総合体育館で行われ、猪苗代中学校特設バドミントン部が全国の舞台上で大活躍しました。

団体戦では、女子が2年ぶりに優勝。男子は準優勝に輝きました。個人戦では、女子シングルスで染谷菜々美選手(3年)が優勝。男子ダブルスでは、鶴岡真人選手(3年)、安田伊吹選手(3年)のペアが準優勝しました。

猪苗代中学校の特設バドミントン部は、富岡第一中学校の生徒で構成され、原発事故の影響により町内に活動拠点を移して練習に励んでいます。

9月1日、結果報告のため町役場を訪れた男子主将の後藤サンさんは「男女優勝は後輩に託す」とあいさつ。女子主将の染谷菜々美さんは「優勝は町の人たちの応援のおかげ」と話しました。

笑顔でこんにちは



大好きなパパ、ママと一緒に「ハイ、チーズ」

カリカリに焼いた食パンが好物という蒼生ちゃん。パパとママは「健康で、思いやりのある優しい人に育ってほしいです」と笑顔を見せます。

後藤 蒼生 ちゃん

平成27年4月生まれ
～荻窪
勇樹さん・幸子さん夫婦の長女

1歳2カ月頃から歩き始めた蒼生ちゃん。「今では家中を元気に動き回っていて、私は『小さい怪物』って呼んでいるんです」とママの幸子さんは笑顔で話します。おじいちゃんとおばあちゃんも元気一杯な蒼生ちゃんと一緒に遊んでくれるんだとか。

蒼生ちゃんはシールを剥がすのが大好き。シールだけでなく、パパやママが湿布を貼っているのを見ると、すぐに剥がそうとするそうです。

お風呂入れはパパの勇樹さんが担当。娘の笑顔を見ると、仕事の疲れも吹き飛びます。勇樹さんは「将来は、自分のやりたいことに挑戦できる人になってほしいです」と話します。

家族みんなの愛情に包まれて、蒼生ちゃんは今日も元気に成長中です。

※「笑顔でこんにちは」に掲載希望の人は広報担当まで申し出てください。
☎(02)2111

ALT紹介

英語指導助手を紹介します

「こんにちは、セイラムです」



中学校で英語を教えるセイラム先生

Hello.
Nice to meet you!

町民の皆さんともっと仲良くなりたくです。日本語も少し話せますので、気軽に声をかけてくださいね!



皆さんこんにちは。ガーナ共和国出身のフォーチュネー・セイラム・アドウクポです。猪苗代町で英語指導助手として働いて、3年目になりました。学校では、「セイラム先生」と呼ばれています。町民の皆さんからも気軽に声を掛けてもらえると嬉しいです。

私は、妻と息子の3人家族ですが、今は単身で日本へ来ています。ガーナでは、社会科の教師として中学校で働いていました。

ガーナのために、命をかけて病原菌の研究に臨まれた野口英世博士の生まれ故郷で働くことができ、非常に誇らしく思っています。

そして、2020年の東京オリンピックで、猪苗代町がガーナのホストタウンに選ばれたことは、大変嬉しいニュースでした。私も猪苗代とガーナの橋渡し役の一人として、これからも頑張りたいです。

和みいな 企画展

貴重な資料やジオラマが並ぶ 軽便鉄道モジュール展 「駆け抜ける思い出」



当時ののどかな風景を再現した鉄道ジオラマ



展示を案内する出口会長(左)と半澤さん

町教育委員会と沼尻硫黄高山と軽便鉄道を語り継ぐ会は7月26日から8月7日まで、「軽便鉄道モジュール展」を開催しました。会場には縦3・7尺、横5・9尺の鉄道模型が設置されたほか、軽便鉄道が走行する当時の映像が放映されました。

沼尻軽便鉄道は大正2年に敷設され、硫黄の輸送のほか、沼尻・中ノ沢温泉への湯治客やスキー客、住民の移動手段として利用され、町の産業と住民の生活を支えました。

企画展の初日には、会場入り口で元車掌の小檜山和夫さん(川桁)が切符を模した入場券を切り、元運転手の半澤武男さん(下館)の笛に合わせて鉄道模型を走らせました。語り継ぐ会会長の出口陽子さん(新北町)は、「今も愛され、語り継がれる沼尻硫黄鉱山と軽便鉄道の魅力に触れてほしいです」と話しました。

意見箱

ご意見箱に寄せられたご意見と回答

●敬老の集いで配布した特別記念品について

【ご意見】
敬老の日の85歳に贈る座布団は必要でしょうか。いすに腰掛ける人や寝たきりの人が多い中、大きくて座りにくい座布団を贈るのは理解しがたいです。

【回答】

敬老の集いで、85歳を迎えられた人に、特別記念品としておめでたい品として「紫座布団」を贈呈しているものです。

ご指摘の件について、紫座布団に代わる良い記念品があれば変更していきたいと考えます。

保健福祉課 高齢者福祉係
☎(62) 21115

皆さんの建設的なご意見をお寄せください

町は、町民の皆さんとの協働によるまちづくりを進めるため、ご意見やご提案をお寄せいただく町民意見箱「ご意見箱」を設置しています。

より良いまちづくりのため、

皆さんの建設的なご意見をお寄せください。

▼設置場所 役場庁舎、カメリーナ、学びいな、和みいな(郵送やFAXでも受け付けます)

▼回答方法 広報猪苗代で回答▼記入にあたってのお願い

・ご意見は内容の趣旨がわかるように、具体的に記入いただくようお願いいたします。

・氏名、住所および連絡先をご記入ください。

※頂いたご意見の内容によっては、確認のためご連絡させていただくことがありますので、ご了承くださいるようお願いいたします。なお、広報で回答する際には、氏名を伏せて掲載いたします。

・他人を誹謗、中傷するものや営業、宗教、政治活動などに関するものはご遠慮ください。

▼送付・問い合わせ先

総務課 秘書広報係

☎(62) 21111

FAX(62) 5175

保健

B型肝炎ワクチンの定期接種が始まります

平成28年10月1日から、B型

肝炎ワクチンが定期接種になります。

B型肝炎ワクチンは、B型肝炎ウイルスの感染を予防します。ワクチンを接種することで、キャリア化を防ぎ、肝臓がんから赤ちゃんの命を守る「がん予防ワクチン」です。

▼対象者
平成28年4月1日以降に生まれた0歳児

▼料金 無料

▼その他
1歳になる前に3回の接種を終える必要があります。1歳になつてしまうと、定期接種の対象外となります。スケジュールをご確認いただき、予防接種を受けるようにしてください。

▼問い合わせ先
保健福祉課 健康づくり係

☎(62) 21115

日本脳炎予防接種のお知らせ

日本脳炎の予防接種が差し控えられたために接種機会を逃した人(特例対象者)についてお知らせします。

▼対象者

①平成8年4月2日から平成19年4月1日生まれの人

・不足分を20歳未満まで定期接種として接種可能

お知らせ

「未来の夢たい肥」販売再開について

6月に完売のため販売を一時中止していましたが「未来の夢たい肥」の販売を9月1日より再開しました。お待ちいただいていた皆様には大変ご迷惑をおかけしました。

▼問い合わせ先

農林課 堆肥施設係

☎(62) 21116

優良堆肥製造施設

☎(85) 8810

市町村対抗ソフトボール大会

第3回市町村対抗ソフトボール大会が次のとおり開催されます。皆さんで猪苗代町チームを応援しましょう。

▼日時 10月16日(日) 第2試合 午前10時45分試合開始予定

▼会場 相馬光陽ソフトボール場A球場(相馬市)

▼対戦相手 葛尾村

▼問い合わせ先

生涯学習課 社会体育係

☎(72) 0180

成人式のご案内



成人式を開催しますので、新成人の人は11月11日(金)までに手続きをお願いします。

▼日時 平成29年1月8日(日) 午後2時~午後3時15分頃

▼場所 学びいな

▼対象 平成8年4月2日~平成9年4月1日生まれ

▼手続き方法

町内に住民登録している人には、往復はがきでご案内を差し上げますので、出席希望の有無を記入の上、ご返信ください。転出済みの人と9月1日以降に転入した人は、出席を希望する場合のみ電話などでお申し込みください。

▼その他 当日は昭和60年以降の集合写真を会場に展示します

▼申し込み・問い合わせ先

生涯学習課 生涯学習係

☎(72) 0180

募集

ちびっこランド参加者募集

町では、親子の遊びの教室「ちびっこランド」を前期と後期の2回に分けて開催しています。今回は、後期の参加者を募集します。

音楽に合わせて踊ったり、思い切り体を動かしたり、季節に合わせた遊びなどを行っています。近所に同年代の子どもが少



「ちびっこランド」で、一緒に楽しい時間を過ごしませんか

☎(62) 21115

保健福祉課 健康づくり係

▼問い合わせ先

電話で申し込んでください。

▼申し込み方法 保健福祉課に

電話で申し込んでください。

※定員になり次第、締め切り

▼申込締め切り 10月7日(金)

▼日程 10月25日(火)、11月

29日(火)、12月13日(火)、平

成29年1月31日(火)、2月28

日(火) (全5回)

▼時間 午前10時から正午まで

▼会場 町農村環境改善セン

ター

▼申込締め切り 10月7日(金)

※定員になり次第、締め切り

▼申し込み方法 保健福祉課に

電話で申し込んでください。

▼問い合わせ先

電話で申し込んでください。

▼申し込み方法 保健福祉課に

電話で申し込んでください。

給付金

給付金の受け付けが始まりました

町では、「臨時福祉給付金」の申請受け付けを開始しました。この給付金は、消費税率の引き上げによる影響を緩和するため、所得の低い人に対し、暫定的・臨時的な措置として支給するものです。

また「臨時福祉給付金」と併せて、低所得の障害・遺族基礎年金受給者向けの「年金生活者等支援臨時福祉給付金」も申請を受け付けます。

給付金を受け取るには、平成28年1月1日時点で住民票のある市区町村への申請が必要になります。

給付対象者となる可能性のある人にはすでに案内と申請書を郵送していますので、案内などをご確認の上、申請受付期間内に申請してください。

▼臨時福祉給付金
▼支給対象者
平成28年度分の住民税が課税されていない人
※ただし、課税されている人に生活の面倒を見てもらっている場合(住民税において、どなた

かの扶養となっているなど)や生活保護の受給者である場合などは、対象となりません。

▼支給額
対象者1人につき3万円
【年金生活者等支援臨時福祉給付金】

支給対象者

上記の臨時福祉給付金の要件に該当する人で、障害・遺族基礎年金などの平成28年4月または5月の受給がある人
※ただし、低所得の高齢者向けの年金生活者等支援臨時福祉給付金(平成28年4月から7月に受給)の支給を受けた人や課税されている人に生活の面倒を見てもらっている場合(住民税において、どなたかの扶養となっているなど)や生活保護の受給者である場合などは、対象となりません。

▼申請方法
対象者1人につき3万円
▼申請先
保健福祉課 社会福祉係
▼申請受付期間
9月1日(木)～12月1日(木)
▼提出書類
申請書ほか(身分証明書・振込口座の写しなど)
▼問い合わせ先
保健福祉課 社会福祉係
☎(62)2115

相談

戸籍に記載されていない人へ

戸籍に記載されておらず、各種行政サービスが受けられないなどでお困りの人は、法務局や町の戸籍担当窓口にご相談ください。また、このような困っている人をご存知の人も、ご相談ください。どのような手続を取ることが最善なのか、皆さんの事情をお伺いして、法務局または町の戸籍担当職員が、ご相談に応じます。(相談無料、秘密厳守)

▼相談窓口 福島地方法務局 若松支局
町民生活課 町民係
▼問い合わせ先
法務局 若松支局
☎(27)1498
町民生活課 町民係
☎(62)2114

行政相談委員に相談してみませんか

行政相談委員が役所(国、県、市町村)や特殊法人(NTT、JRなど)の仕事についての相談に応じ、その解決のお手伝い

掲示板

告示

第4委員会室
▼その他 相談無料・秘密厳守
▼問い合わせ先
総務課 秘書広報係
☎(62)2111

・第53号「国民健康保険被保険者証再交付に係る無効告示」(町民生活課国保年金係)
・第54号「猪苗代町低所得の高齢者向けの年金生活者等支援臨時福祉給付金支給事業実施要綱の一部を改正する要綱」(保健福祉課社会福祉係)

公告

・第21号「農地利用集積計画の公告」(農業委員会農地係)

※告示・公告された内容については、役場前掲示板をご覧になるか、それぞれの担当課に問い合わせください。

・第22号「農地利用集積計画の公告」(農業委員会農地係)
・第23号「平成28年度における猪苗代町の発注予定工事情報」(企画財務課財務係)
・第24号「不動産等の最高価申込者決定」(税務課収納係)
・第25号「インターネット公売の公告」(第3号)(税務課収納係)
・第26号「農地利用集積計画の公告」(農業委員会農地係)
・第27号「インターネット公売の公告」(第4号)(税務課収納係)

善意をありがとうございます

○災害復興支援協力金として
東深沢小学校、等々力小学校、東深沢中学校、同校PTA(東京都)
東京都世田谷区の東深沢小、等々力小、東深沢中と同校のPTAは8月2日、災害復興支援協力金として町に105,281円を寄付しました。



前後町長に善意を手渡す東深沢中の渡辺杏奈さん(中央)、赤嶋泰人さん(右から2人目)ら

○野口英世博士のふるさと猪苗代応援寄付金として

山口 浩二さん(東京都)	10,000円
鈴木 秀幸さん(静岡県)	20,000円
遠藤 昭二さん(千葉県)	10,000,000円
水野 智子さん(愛知県)	50,000円
渡辺しのぶさん(東京都)	30,000円
折戸 瑠美さん(神奈川県)	10,000円
小野 真一さん(いわき市)	30,000円
阿部 辰則さん(千葉県)	50,000円
吉持 賢一さん(京都府)	30,000円
阿部 義典さん(東京都)	30,000円

ここから下は広告欄です。お問い合わせは直接広告主をお願いします

新築 猪苗代町川桁 価格 **2,350万円(税込)**

A棟 4LDK P3台可 玄関風除室付 南向き 川桁駅まで徒歩3分

- 土地面積/209.33㎡(63.32坪)
- 建物面積/114.54㎡(34.64坪)
- 学区/長瀬小・東中
- 取引形態/売主

※建築条件無

★内見出来ますのでお気軽にお問い合わせ下さい。

一土地から住まい創りまで

0800-800-1172 024-933-1171

株式会社 **ダイアホーム**

〒960-0811 福島県知事(6)第1521号 郡山市亀田1丁目48番11号(サンスカイビル1F)

http://www.daie-home.com E-mail: info@daie-home.com

●日曜・祝日営業 ●定休(水曜日)

をします。定例相談は毎月1回、第3水曜日に開催しています。お気軽にご相談ください。

▼行政相談委員


宮澤 重正さん(下館)
☎(66)3995

▼開催日時
9月21日(水)
午後1時から午後3時まで

▼場所 町役場3階 日本間

▼その他 相談無料・秘密厳守

▼問い合わせ先
総務課 秘書広報係
☎(62)2111

人権擁護・行政相談委員合同相談会

町では、次の日程で人権擁護委員と行政相談委員の合同相談会を開催します。

人権擁護委員は、地域住民の人権の擁護と人権思想の普及高揚を目的に活動しています。

差別、いじめ、嫌がらせなど、人権問題でお困りの人は、一人で悩まずこの機会にぜひご相談ください。

▼開催日時 10月7日(金)
午前10時から午後3時

▼場所 町役場3階

猪苗代警察署管内の犯罪・交通事故発生状況(平成28年7月31日現在)

1 犯罪発生状況					
町村別	年別		増減	増減率%	
	平成28年	平成27年			
猪苗代町	41	45	-4	-8.9	
磐梯町	12	11	1	9.1	
裏磐梯	10	8	2	25.0	
計	63	64	-1	-1.6	

罪種別	町村別		猪苗代町		磐梯町		裏磐梯	
	28年	27年	28年	27年	28年	27年	28年	27年
窃盗犯計	32	34	11	9	9	8		
空き巣		2	2					
金庫破り								
事務所荒らし				1				
出店荒らし	2	6	1			1		
倉庫荒らし		1		1				
侵入盗その他	6	11	2	2		2		
置き引き		2	1			3		
車上ねらい	2		1			2	3	
部品ねらい	3							
脱衣場ねらい	3					1		
自販機ねらい								
万引き	2	4						
職場ねらい		1						
さい銭盗								
畑荒らし								
スキー・スノーボード盗	2		4	3	3	1		
非侵入盗その他	4	4		2		1		
自動車盗	2							
オートバイ盗								
自転車盗	6	3						
その他の乗り物盗								
暴行・傷害	1	2		1				
詐欺・横領		3		1				
遺失物等横領								
器物損壊	5	3				1		
その他の刑法犯	3	3	1					
総計	41	45	12	11	10	8		
増減		-4		1		2		

◎なりすまし詐欺に注意！息子を装い、お金をだまし取る詐欺が増えています。

町内でなりすまし詐欺が発生しており、特に高齢者宅を狙った不審電話が増えています。話の中で、お金の手渡し・振り込みの指示があったときは、すぐに家族や知人が警察(110番)に相談してください。

2 交通事故状況					
死亡事故	増減		人身事故		増減
	1	0	0	0	
増減	1	0	0	0	
人身事故	36	26	10	10	4
増減	10	0			2

◎シートベルトには事故被害軽減に大きな効果があります。助手席、後部座席も着用しましょう。

募集

廃棄物処理料金審議会委員を募集します

会津若松地方広域市町村圏整備組合の廃棄物処理料金の適正化について、調査・審議を行います。

●任期 管理者から諮問を受けた日から管理者へ答申するまでの期間。

●応募資格 満20歳以上で、構成団体内(猪苗代町など)に住所を有し、現に居住している人。構成団体の議会議員、職員でない人。廃棄物処理業に関連した会社などの経営者または従業員でない人。成年被後見人または被保佐人でない人。

●定員 3人(応募多数の場合は抽選)原則1人以上は女性とします。

●応募方法 所定の申込書に必要事項を記入のうえ、環境センターへ直接持参するか郵送、FAX、電子メールにより提出してください。申込書は、環境センターに備え付けてあります。郵送希望も可。また、組合ホームページからのダウンロードでも入手可能です。

●申込締切日 9月28日(水)必着(郵送の場合は9月27日までの消印有効)

●報酬 会議の都度、所定の報酬を支給

●会津若松地方広域市町村圏整備組合 環境センター業務係

☎・FAX (27) 9004

http://www.aizu-kouiki.jp/

Email:kankyo@aizu-kouiki.jp

催し

猪苗代養護学校発表会「いなっ子まつり」

猪苗代養護学校では、日頃の学習の成果を発表する場として「いなっ子まつり」を開催します。

ステージ発表のほか、児童生徒の作品展、作業学習製品の販売コーナーなど、盛りだくさんの内容です。

地域の皆さんと一つになり、楽しい「いなっ子まつり」をつくり上げたいと思います。皆様のご来場をお待ちしています。

●日時 10月15日(土)

・オープニング 午前9時15分～午前9時25分

・ステージ発表 午前9時25分～午前11時

・作品展 午前9時15分～正午

・製品販売 午前11時～正午

・外部団体との交流 午後1時～午後1時30分

・フィナーレ 午後1時35分～午後2時

※進行状況により、時間が若干前後することがあります。

●猪苗代養護学校 ☎(65) 2151

事故防止

農作業時の事故には十分注意しましょう

収穫の秋を迎え、稲刈りなどの農

作業をする機会が増えました。作業の際には、けがのないよう十分に注意しましょう。

●倒れた農機具の下敷きになり、周りに人がいなく助けを呼べなかったため、命を落としてしまう事故が多くあります。農機具の転倒には十分気を付け、2人以上で作業するようにしましょう。

●コンバインに稲わらが詰まった際に、稲わらを取ろうとしてけがを負う事故もあります。必ずエンジンを止め、安全を確認してから機械に触れるようにしましょう。

どんなに注意しても事故が起ってしまうかもしれません。万が一、事故が発生してしまったら、冷静に119番通報をしましょう。

●猪苗代消防署 ☎(62) 4433

調査

平成28年社会生活基本調査

総務省統計局(福島県)では、10月20日現在で社会生活基本調査を実施します。

この調査は、国民生活の実態を明らかにすることを目的として、統計法(国の統計に関する基本的な法律)に基づき実施する国の重要な統計調査です。

調査結果はワーク・ライフ・バランスの推進、少子高齢化対策、ボランティア活動の状況の把握など、国や地方公共団体における各種施策の基礎資料として活用されます。

調査をお願いする世帯には、10月上旬から中旬にかけて調査員が伺い、調査書類をお配りします。皆様により便利にご回答いただくため、紙の調査票での回答のほか、インターネット回答が可能となっていますので、調査の趣旨をご理解いただき、ご回答をお願いします。

●福島県統計課 生活統計担当

☎024(521)7145

就職支援

「障がい者就職面接会」開催のご案内

ハローワーク会津若松では、障がい者の雇用を促進するため、下記のとおり就職面接会を開催します。

●日時 平成28年10月31日(月)午後1時30分～午後4時

●場所 会津アピオスペース 展示ホール

●参加予定企業数 30社(予定)

●ハローワーク会津若松 専門援助部門

☎(26) 3333

金融

多重債務・貸金業に関する相談窓口

財務省福島財務事務所では、多額の借金を抱え、悩んでいる人からの相談に応じています。抱えている借金の状況をお聞きし、必要に応じ弁護士・司法書士などの専門家に引き継ぎを行います。相談は無料です。

また、国や県の登録を受けずに貸金業を営む、いわゆる「ヤミ金融」には十分ご注意ください。ご利用されている貸金業者の登録状況に関する問い合わせや不正に利用されている預貯金口座に関する相談も受け付けています。

●財務省福島財務事務所 理財課 ☎024(533)0064

「出前講座」のご案内

財務省福島財務事務所では、小学生以上の皆さんを対象に、金融や国の財政などをテーマに出前講座を行っています。講演料は無料です。

●財務省福島財務事務所 総務課

☎024(535)0301

プライバシー保護のため、ホームページ掲載分の
消息欄は削除しました。ご了承ください。

町の人口

28年8月1日現在の現住人口	14,787人
人口	14,787人
世帯数	4,945戸
出生	13人
転入	28人
死亡	18人
転出	38人

●国民健康保険税 第3期分

●今月の納期 第3期分

●納期限9月30日 第2期分

●上下水道使用料 9月分

編集後記

先日、「珍しい白いバメを見かけた」との情報提供をいただき、目撃情報があった場所へ行ってみました。役場から向かう車中、「すでに別なところへ飛んで行ってしまっているのでは」と脳裏をよぎりましたが、意外にもすぐに白いバメを発見！写真は「フォトニューズ」コーナーに掲載しています。(半澤)

みんなの美術館

9月は長瀬小学校のお友達の作品です

Our Museum



「ウキウキ花」

最初は青が多くて暗い印象だったので、赤や黄色を加えてウキウキした感じを出しました。工夫したところは、花をハートの形にしたり、絵の具をにじませたりしたところです。



鈴木小乃夏さん(4年)



布引 夢さん(3年)

「おいしい大福」

遠足に行って大福作り体験をした様子を描きました。友だちと一緒に作った大福は、甘くてとてもおいしかったです。自分のバンダナの色を上手に描くことができました。



食生活改善推進員コーナー

～生活習慣病予防メニュー～

No.231

かぼちやの油揚げ焼き (メタボ予防メニュー)



【材料】4人分

・かぼちゃ 400g^㉔・玉ねぎ 1/2個・合びき肉 100g^㉔・スイートコーン 20g^㉔・油揚げ 4枚・A {砂糖 大さじ1・しょうゆ 大さじ1}・しょうゆ(塗り用) 大さじ1・ごま油 大さじ2・サニーレタス 4枚

【作り方】

- ①一口大に切ったかぼちやを軟らかくなるまで煮る。水分をとばし、熱いうちに潰しておく。
- ②粗みじん切りにした玉ねぎを色が変わるまで炒める。ひき肉を加えて炒め、Aで味付けをしたら、皿に移し粗熱をとり、①と混ぜ合わせる。
- ③油抜きをした油揚げを半分に切り、②を中に詰める。
- ④ごま油を熱したフライパンで③の両面にしょうゆを塗りながら焼く。焼き色がついたら皿に盛って出来上がり。

【一人当たりの栄養量】

エネルギー 293kcal^㉔、塩分 1.4g^㉔

■一口メモ■

中の具はコロケ風ですが、油揚げに詰めて焼くことで油の量を抑えることができ、メタボ予防につながります。